

校長通信 未来へのスタート

2024. 9. 2 文責 川口 雅哉

「2学期もよろしくお祈いします！」

約40日間の夏休みが終わり、今日から2学期が始まりました。

夏休みの教室や運動場は、学童保育の子どもたちが過ごす姿はあったものの、全体的に静かでさみしい様子でした。今朝子どもたちが久しぶりに教室や運動場でにぎやかに話したり遊んだりしている姿を見ると、やはり学校は子どもたちがいるから輝くのだと実感しました。

この長い夏休み中に、子どもたちに大きな事故や怪我の報告がなかったことは、大変うれしいことです。厳しい暑さのなか、保護者の皆様をはじめ、地域の皆様など多くの方々が子どもたちに親身に関わり、見守ってくださったことに、心から感謝いたします。また、夏休み中に学校に水やりボランティアで来てくださった方々のおかげで、プランターの花たちも厳しい暑さを乗り越えて今日の日を迎えることができました。どうもありがとうございました。

2学期は、約1か月後に控えた6年生の修学旅行や、1～5年生の秋の遠足、11月の運動会など、子どもたちが楽しみにしている行事が次々とあります。どの行事も、子どもたちみんなで協力して取り組むことと、一人一人がそれぞれの目標に向かって一生懸命努力することで、成功につなげてほしいものです。

学習については、苦手な教科や学習にも進んで取り組んでほしいと思っています。過日放送されていたNHK(Eテレ)のワルイコあつまれという番組の中で、林修先生が、「わかること」は「分けること」という話を子どもたちにしていました。よくわかっている学習内容と、あまりわかっていない学習内容を分けてみるのが大切だということです。十分わかっていない学習内容をとりあえず覚えるだけにしたりわからないままにしたりすると、土台が不安定な状態で学習を続けることとなり、だんだん学習が難しくなると積み重ねてきた不安定な土台が全部崩れ、一気に分からなくなってしまうのです。林先生は、「勉強はわかると楽しいもの。学年が上がると内容が難しくなりわからないことがどんどん増えていく。勉強が急にわからなくなる子は、土台の部分にごまかしがある。」とおっしゃっていました。自分がわかっている内容が何かをつかんで、わかるようになるための努力は、決して楽なことではないでしょう。しかし、わかった時の喜びはきっと大きいはずですし、ほかのわからないことにもチャレンジする意欲が湧くかもしれません。柳本小学校の子どもたちに、2学期の学習でわかる喜びをたくさん味わってほしいと願っています。

子どもたちにとって、2学期の学習や生活が実り多きものとなるよう、教職員一同努力してまいりますので、引き続き皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

※8月11日の柳本校区納涼夏祭りで、いいしょうさんのステージがありました。ステージの中で、この通信のことやタイトル「未来へのスタート」について感想を述べておられました。

『いいしょうさん、お褒めの言葉をいただき、ありがとうございました！！』